

第2期帯広市中心市街地活性化基本計画の総括

1 第2期計画の期間と基本的な方針

(1) 計画期間

平成25年4月～令和2年3月 ※国の認定期間は、平成30年3月まで

(2) 基本的な方針

ア 街なか居住の促進

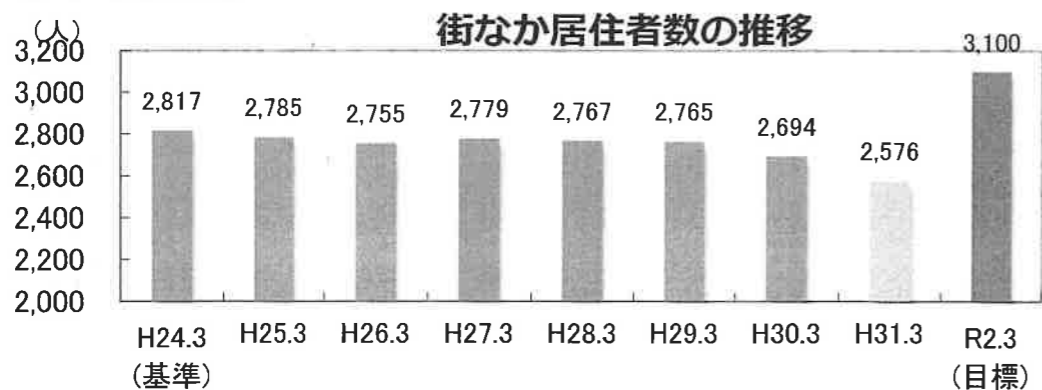
イ にぎわい創出と魅力づくり

2 指標の達成状況

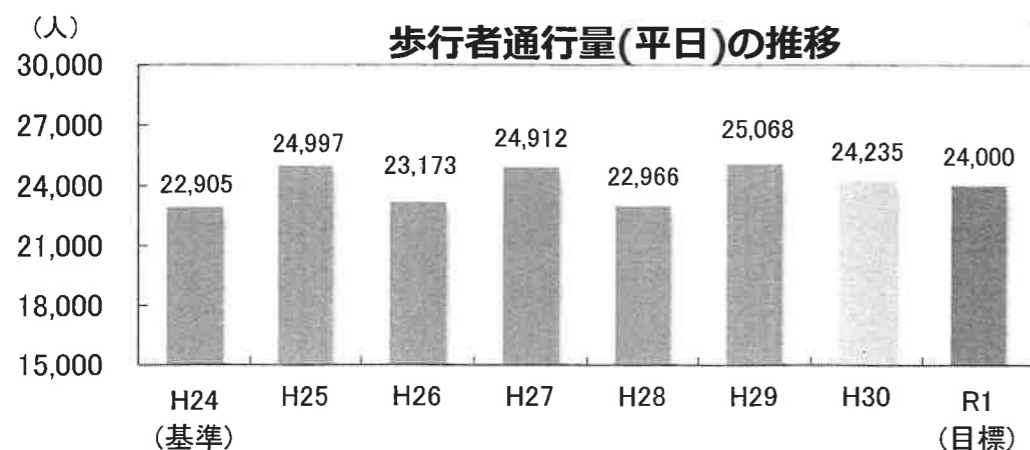
指標のうち、「街なか居住者数」は目標値、基準値を下回ったものの、「歩行者通行量(平日)」は目標値、基準値を上回っている。

目標	指標	基準値	目標値	実績値
街なか居住の促進により、居住人口の増を図る	街なか居住者数	2,817人(H24.3)	3,100人(R2.3)	2,576人(H31.3)
		目標値、基準値ともに下回っている。		
既存ストックの活用によるにぎわいの創出と魅力づくりにより、来街者、歩行者の増を図る	歩行者通行量(平日)	22,905人(H24)	24,000人(R1)	24,235人(H30)
		目標値、基準値ともに上回っている。 ※夜間の歩行者数増加が要因である。		

<参考> 指標の推移



※調査方法：住民基台帳から集計
 ※調査月：3月末時点
 ※調査主体：帯広市
 ※調査対象：中心市街地



※調査方法：7月の第1週金曜日 9～20時で計測
 ※調査月：7月
 ※調査主体：帯広商工会議所
 ※調査対象：中心市街地内18地点

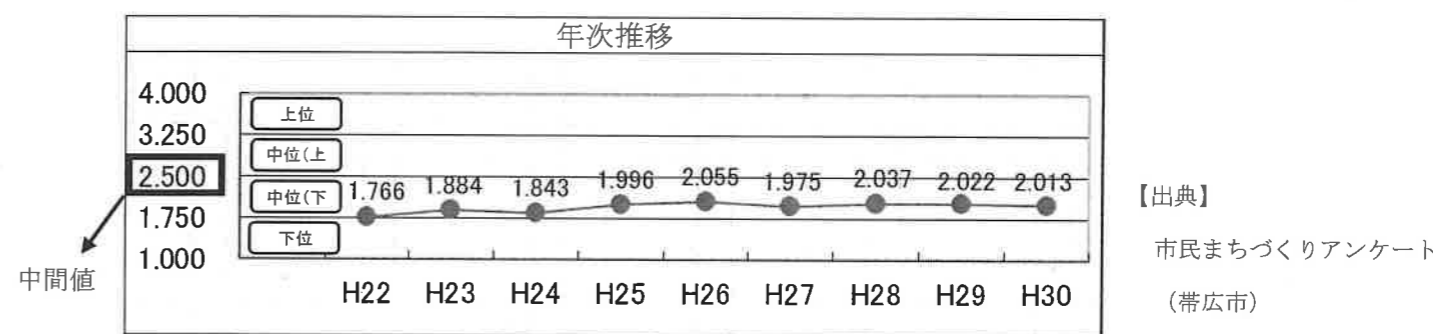
3 市民意識の変化

市民まちづくりアンケートにて「中心市街地に魅力とにぎわいがある」に対する市民意識調査を行った。

回答：「そう思う」…4ポイント 「ややそう思う」…3ポイント
 「あまりそう思わない」…2ポイント 「そう思わない」…1ポイント

結果、第2期計画策定前の年度(H24)の加重平均値である1.843から、直近年度(H30)の加重平均値である2.013に、0.17上昇し、計画事業の効果発現による改善が見られるものの、市民実感度は依然として低い状況が続いている。

○設問 中心市街地に魅力とにぎわいがある



4 事業の実施状況

基本計画の全51事業のうち、実施が50事業、未実施が1事業となっている(事業一覧は別表のとおり)。

「開広団地再整備事業」により整備した商業施設の開業のほか、「街なかコミュニティ・ホテル事業」による宿泊客数の増加等により歩行者通行量は増加したものの、「開広団地再整備事業」により整備した有料老人ホームが深刻な人手不足から、実際の居住者数が想定を大幅に下回ったこと等により、街なか居住者数は減少した。

5 中心市街地活性化協議会の意見

※H30.5に帯広市が内閣府に提出した「認定中心市街地活性化基本計画の最終フォローアップに関する報告」から抜粋

- ・経済・雇用情勢の影響を受けた一部の事業を除き概ね順調に事業が実施され、所期の効果が得られた。
- ・まちなか居住の促進は、「西2・9西地区優良建築物等整備事業」が資材価格高騰の影響を受け計画期間中に実現されなかったほか、「開広団地再整備事業」は平成27年3月に完了し、居住者数増加に資する新たな拠点が整ったものの、団地内有料老人ホームの深刻な人手不足により、居住者数は目標を大きく下回っていることから、引き続き状況を把握しなければならない。
- ・にぎわい創出と魅力づくりは、計画に位置付けたソフト事業の継続実施が大きな役割を果たしてきているうえ、「街なかコミュニティ・ホテル事業」がインバウンドも含めた交流人口の受け皿機能を発揮しているほか、市民との情報共有の場、各種機関・団体等と連携した人材育成の場としての役割も担っている。
- ・現在、中心市街地では大型空きビル周辺地区の再開発などの新たな動きがあり、街なかの姿が変わる転換期を迎えている。当協議会としても、このような動きを好機と捉え、併せて個店にも魅力発信等の努力を引き続き促すなどして、関係者と一丸となって中心市街地の活性化を推し進めてまいりたい。

6 今後の方向性

- ・中心市街地に関する市民意識として、市民まちづくりアンケートによる市民実感がやや向上したものの、依然として「中心市街地に魅力とにぎわいがある」と感じている市民が少ないことから、引き続き、中心市街地のにぎわい創出と魅力づくりに向けた取り組みを進める必要がある。
- ・第2期計画の成果指標のうち、「街なか居住者数」は目標値を下回っており、まちなか居住が進まなかったことが課題として残ったことから、引き続き、快適で魅力的な居住環境の整備等を進める。
- ・第2期計画の成果指標のうち、「歩行者通行量（平日）」は目標値を上回ったものの、時間別推移を分析すると、「夜間の歩行者通行量」は増加している一方で、「昼間の歩行者通行量」は減少傾向にあり、平日昼間の賑わい創出が課題として残っている。中心市街地に買い物、ビジネス、観光など、様々な目的を持った人が日常的に来街する、新たな人の流れを呼び込むための事業展開を行う。

別表 第2期帯広市中心市街地活性化基本計画 全51事業の実施状況について

基本的方針	目標	区分	事業名	実施状況	
街なか居住の促進	街なか居住の促進 住居の増えを促す	施設整備 居設事業	1 開広団地再整備事業	実施	
			2 西2・9西地区優良建築物等整備事業	未実施	
			3 西3・9周辺地区第一種市街地再開発事業	実施	
		居住環境 向上 居環事業	4 まちなか居住プラットフォーム事業	実施	
			5 町内会加入促進事業	実施	
			6 自主防災組織の設立促進事業	実施	
			7 市民活動交流センター運営事業	実施	
			8 おびひろ市民芸術祭事業	実施	
			9 芸術・文化鑑賞事業	実施	
			10 プラザまつり事業	実施	
			11 図書館活用事業	実施	
にぎわいと魅力の創出	既存ストックの活用による歩行者の増加を図る	にぎわいと魅力の創出 居環事業	12 広小路アーケード空間を活用した集客・回遊・滞留事業	実施	
			13 帯広まちなか歩行者天国事業	実施	
			14 おびひろイルミネーションプロジェクト	実施	
			15 平原のルキア	実施	
			16 OBIHIRO ほっとマグフェスタ	実施	
			17 まちなか産直市	実施	
			18 フードバレーとかちマラソン大会	実施	
			19 とかちマルシェ事業	実施	
			20 おびひろ平原まつり	実施	
			21 おびひろ菊まつり	実施	
			22 パーカーキャンプ（北海道小麦キャンプ）	実施	
			23 社会を明るくする運動	実施	
			24 ガイアナイト in おびひろ	実施	
			25 おびひろ夢あかりアートの街	実施	
			26 平原通商店街活性化事業	実施	
			27 栄通商店街活性化事業	実施	
			28 街なかコミュニティ・ホテル事業	実施	
			29 高齢者いきいきふれあい館「まちなか」運営事業	実施	
			30 中央公園再整備事業	実施	
			31 中心市街地 Wi-Fi 環境整備事業	実施	
			商店街、店力、個力 の事業	32 商店街活性化事業演出・催事実施事業	実施
				33 商店街活性化事業地域いたわり商店街事業	実施
				34 商人塾事業（中心市街地活性化基本計画推進事業）	実施
				35 自慢の逸品事業	実施
				36 北の屋台事業	実施
				37 帯広電信通り商店街活性化事業	実施
				38 まちなかインキュベーション事業	実施
				39 免税店機能整備事業	実施
				その他の事業	40 市営駐車場管理・運営事業
			41 まち美化サポート事業（クリーン・キャンパス・21）		実施
			42 共通駐車券事業		実施
		43 商店街活性化事業歩道ロードヒーティング設備維持事業	実施		
		44 駅北多目的広場花いっぱい事業	実施		
		45 帯広商工会議所まちなか支所運営事業	実施		
		46 買物共通バス券事業	実施		
		47 高齢者おでかけサポートバス事業	実施		
		48 エコバスセンターりくる事業（公共交通・観光活性化拠点運営事業）	実施		
		49 環境問題教室	実施		
		50 元気おびひろ！ まちなか食遊バスパック事業	実施		
		51 まちなか活性化懇談会実施事業	実施		